

未来へ向かって

を誕生を
開催式典
南部町



10月1日に合併して誕生した南部町を祝う式典を、3月27日(日)にふるさと交流センターで開催しました。

式典には町民や関係者約400人が出席し、あらためて新町の誕生を祝いました。

式典では始めに、坂本町長が「先人の残した歴史や文化を引き継ぐとともに、英知を結集し未来を切り拓いていかなければならない」と式辞を述べました。

意見発表で、会見小学校5年生の福井雄太君が南部町に期待することとして「会見と西伯の交流をもっと進め、人同士が強く結ばれることによって元気で活気のある南部町になってほしい」と発表。続いて法勝寺中学校2年生の赤井宥紀さんが「福祉の町と人権の町がいつしよになつて、人にも自然にもやさしい南部町になってほしい」と発表しました。二人とも南部町に期待するとともに、自分自身の決意も示してくれました。



福井雄太君(会見小)



赤井宥紀さん(法勝寺中)



また、式典後に片山鳥取県知事が「新しい町づくりと地域の自立」と題し「合併をして大きくなれば良いというものではない。今、地方分権の時代といわれているが、合併をする判断こそ地方自治である。「規模」より「質」が大事である。」と記念講演をされ、参加者はうなずいていました。